

犯罪が 起こりにくい まちに向けて

10/11~20は
安全で安心な
まちづくり旬間

千葉県では毎年10月11日～20日を「安全で安心なまちづくり旬間」と定めています。また、県警の統計によると、これから年末年始にかけて犯罪件数が増加する傾向にあります。今号では、安全で安心して暮らすことのできるまちに向けての取り組みと、犯罪の中でも「知るこ」が抑止につながる「電話 de 詐欺」について、紹介します。この機会に当事者意識を持って防犯について考えてみませんか。



▲青色防犯パトロールカーと北部分地区防犯ボックスのセーフティアドバイザー

市民のみなさんと共に取り組む安全で安心なまちづくり

犯罪防止に向けて、市民のみなさんと共に取り組んでいます。今後、防犯犬キャラクターを活用して防犯意識をさらに高めていきます。

市民のみなさんの協力



自治会などによる 自主防犯活動

自治会や地域団体などが防犯パトロールなどの自主防犯活動を実施しています。本市は防犯物品を提供し、活動の活性化を図っています。



民間団体による 青色防犯パトロール

民間団体が青色防犯パトロールを実施しています。本市は必要物品の貸与や申請手続きの補助などの支援を行い、活動の拡大を図っています。協力団体は常時募集しています。



個人による ボランティアパトロール

ボランティアの登録をした個人の方に、本市が貸与したオレンジ色のパトロール帽子を被ってジョギング、ウォーキング、犬の散歩などを通して、犯罪抑止に協力いただいています。登録者は常時募集しています。

本市の主な取り組み

青色防犯パトロール

昼間は幼稚園や保育園、小学校などの周辺、夜間は住宅地を中心にひたたくりや空き巣に警戒しています。警察や教育委員会からの不審者・犯罪情報があった場合は、該当地区を重点的に巡回するなど、お互いに連携を図ってより効果的なパトロールを実施し、まちの安全を守っています。

防犯ボックスの運営

交番の少ない地域の安全・安心を守るため、下記2カ所に警察官OBのセーフティアドバイザーが駐在する防犯ボックスを設置し、防犯力の強化に取り組んでいます。
●大野中央病院敷地内(下貝塚3-19)
●北総鉄道北国分駅南口ロータリー(堀之内3-136-47の一部)



街頭防犯カメラの設置・管理

犯罪抑止と市民の体感治安の向上のため、街頭防犯カメラの設置及び街頭防犯カメラを設置する自治会への助成を行っています。自治会設置の38台と合わせて市内全域に302台の街頭防犯カメラが設置されています。

防犯犬キャラクターの 愛称募集



安全で安心なまちづくりを推進するマスコットキャラクターにすてきな愛称をお寄せください。詳細は応募フォーム(下記2次元コード参照)、市公式Webサイトまたは市民安全課で配布する応募用紙を確認してください。
[募集期間:10月14日(金)まで]

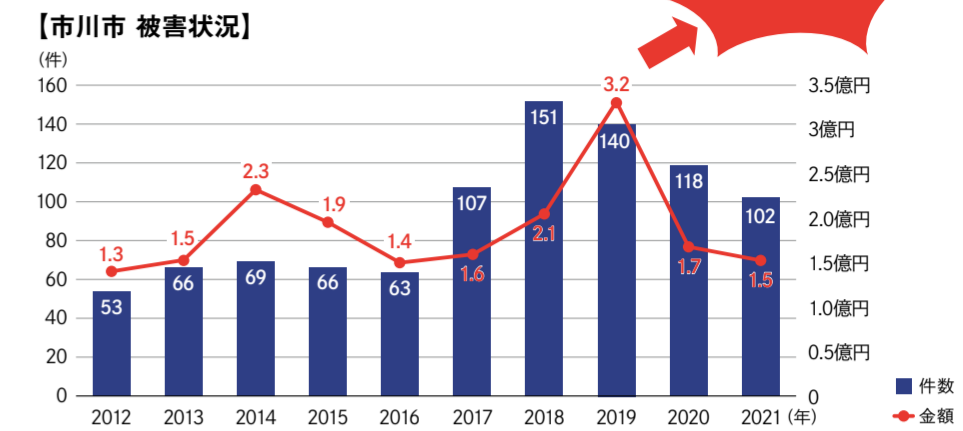
「電話 de 詐欺」本市の被害状況

10年累計
被害総額
約19億円

犯罪手口や対策などが広く認知されている昨今においても、「電話de詐欺」の被害件数及び被害額は、依然として高止まりの状況が続いています。

直近10年の累計被害総額は約19億円にのぼり、被害者の大半は65歳以上の方で、その中でも80歳以上の方の被害が突出しています。

【電話 de 詐欺とは】
電話などの通信手段を使って不特定の人から現金などをだまし取る詐欺の総称。詐欺の実態を周知するために県警が公募し、平成27年8月から使用している県独自の広報用名称です。



詐欺被害に遭わないために

詐欺被害に遭わないためには、手口や対応などについて「知るこ」が一番の対策となります。現在主流の詐欺手口は、銀行ATMで入金を促す手口の他に、自宅や近所に誘い出し、キャッシュカードをだまし取るものもあります。また、自治会費をだまし取る詐欺が市内で複数報告されています。

還付金詐欺

市役所や保健所をかたり、すぐに手続きすれば医療費の還付やコロナ関係の給付が受けられると、言葉巧みにATMに誘い出し、犯人の口座に現金を振り込ませます。



オレオレ詐欺

息子や孫をかたり、仕事に関するトラブルなどを口実にお金を要求します。

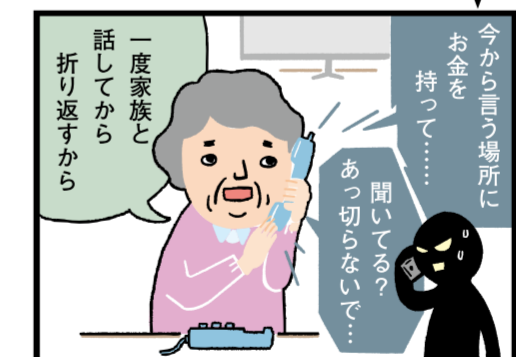


対応

◎まずは詐欺を疑おう ◎電話を切って相談しよう



還付金や給付金の手続きを電話やATMで案内することはありません。必ず書面で郵送します。



とにかく電話を切って、本人に確認するか家族など信頼できる人に相談しましょう。

犯人からの電話に出ないことが一番の被害防止対策です。
警告・録音装置などの機能が付いた電話機や電話番号表示サービスを活用するなどして不審な電話に出ないようにしましょう。常時留守番電話に設定し、すぐに電話に出ないことも有効です。

迷惑電話防止機能付き電話機などの 購入費の一部を補助します

迷惑電話防止機能とは…

通話録音機能:防犯のため録音しているという警告メッセージが流れ、犯行の断念につながります。
電話番号表示パネル機能:表示された番号を見て必要な電話を選んで応答することができます。
自動着信拒否機能:過去に詐欺に利用された電話番号の着信拒否や指定番号の着信許可・拒否設定ができ、着信時に音声案内などでお知らせします。

〈補助金交付の対象となる方(以下の4点全てを満たす方)〉

- ①本市に居住している(住民登録している)
 - ②満65歳以上(令和5年3月31日に65歳に達する方を含む)
 - ③市税を滞納していない(市民税や国民健康保険税など)
 - ④令和4年4月1日以降に対象となる機器を購入
- 〈補助額〉 購入費の4分の3以内で7,000円を限度(100円未満切り捨て)

〈申請方法〉 次の書類を市民安全課に持参。詳しくは、市公式Webサイトを確認もしくは、お問い合わせください。

- ①申請書
 - ②領収書 申請者の氏名、メーカー、品番、購入日、電話機の本体価格が記載されたもの
 - ③購入した電話機などが確認できる取扱説明書または保証書のコピー
- 〈申請書配布場所〉 (市公式Webサイトからダウンロード可)
市民安全課、大柏出張所、市川駅行政サービスセンター、行徳支所、南行徳市民センター
〈申請期限〉 令和5年3月31日(予算の範囲内での受け付け)

「自治会費の回収です」これは詐欺かもしれません
自治会長や自治会役員を名乗って自治会費の回収と称し、金銭の支払いを要求する詐欺の被害が市内で複数報告されています。自治会費の支払いについては、事前に自治会費を回収する人の名前や支払い時期を確認するなど、細心の注意を払ってください。

相談窓口

不審な電話、メールや訪問があったら、一人で悩まず、必ず家族や相談専門ダイヤル、最寄りの警察署などにご相談ください。
○電話de詐欺相談専用ダイヤル☎0120-494-506(受付時間:平日午前8時30分～午後5時15分)
○市川警察署☎370-0110 ○行徳警察署☎397-0110